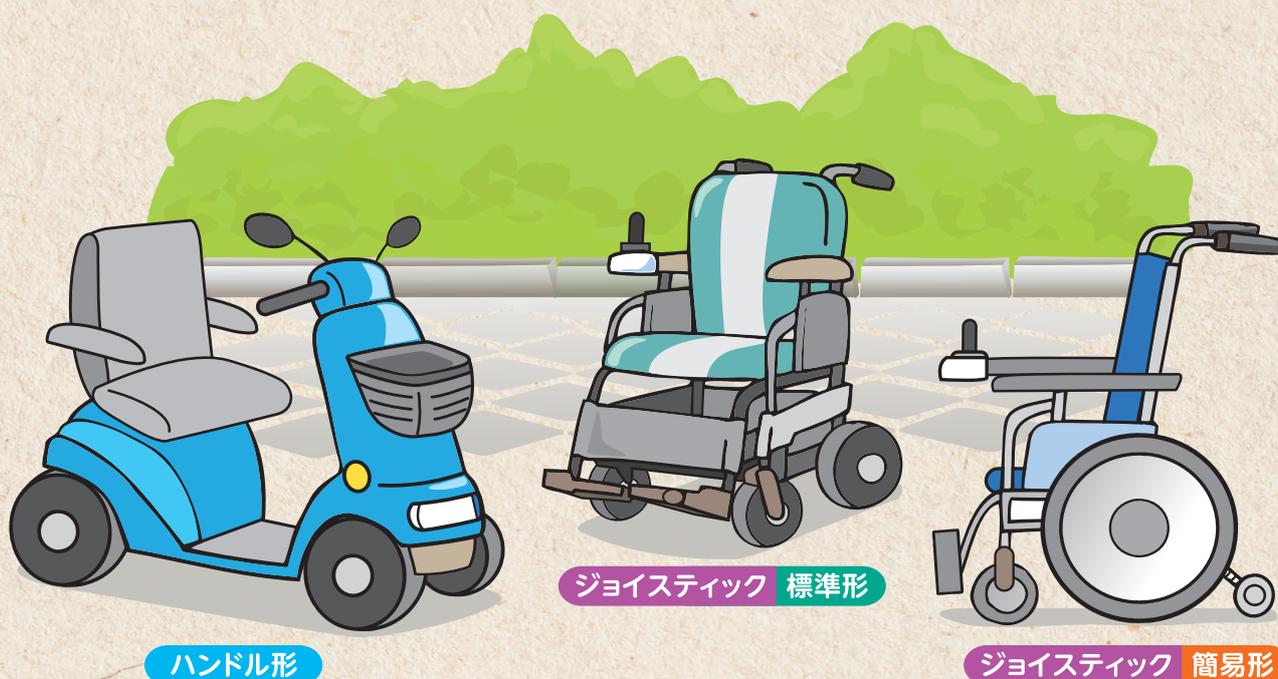


——安全にご利用いただくために——

電動車いす 安全利用の手引き



歩行者としての交通ルールやマナーを守りましょう

P1

通行時の注意点

P3

電動車いすの正しい取り扱いについて

P5

事故事例

P14

電動車いす安全普及協会

歩行者としての交通ルールやマナーを守りましょう

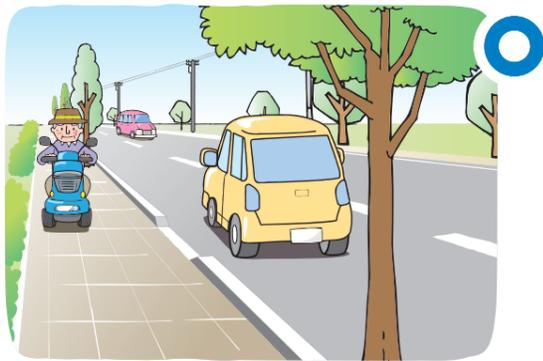
電動車いすは、道路交通法で「歩行者」として扱われます。

道路上で通行できる場所

歩道のある道路では必ず歩道を通行しましょう

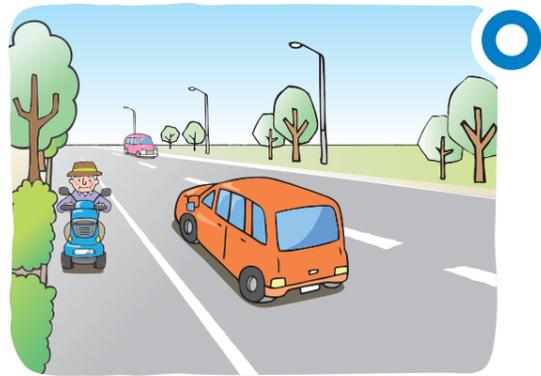
歩道のある道路では、歩道を通行してください。通行するときは、周りの歩行者や自転車に注意しましょう。電動車いすは、一般の歩行者から見ると「強い存在」となることもあります。譲り合いの気持ちを持って通行してください。

歩道が途切れたところや歩道と車道の境に高低差のあるところでは段差などにも気をつけましょう。



歩道がない道路では右側の路側帯を通行しましょう

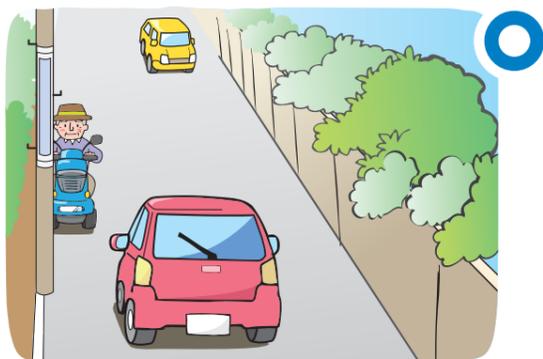
歩道のない道路では、路側帯を通行してください(路側帯は右側通行です)。通行するときは、周りの歩行者や自転車に注意するだけでなく、自動車にも注意しましょう。



歩道も路側帯もない道路では右側を通行しましょう

歩道も路側帯もない道路では、道路の右側を通行してください。通行するときは、自動車には特に気をつけましょう。

進行方向に障害物があるときは、一旦停止して前後の安全を確認して通行します。自動車などが近づいているときも、一旦停止して自動車が通過するのを待ち、前後の安全を確認してから通行してください。



道路の中央を通行してはいけません

道路の中央寄りには通行してはいけません。事故が起こる可能性が高く、大変危険です。必ず歩道や路側帯、道路の右側を通行してください。



道路標識を守りましょう

歩行者等専用

歩行者用道路であることを示しています。電動車いすは歩行者として扱われるため、この標識のある道路は通行することができます。



普通自転車等及び歩行者等専用

自転車と歩行者が通行できることを示しています。電動車いすは通行できます。



横断歩道

電動車いすは通行できます。



横断歩道・自転車横断帯

電動車いすは通行できます。



特定小型原動機付自転車・自転車専用

電動車いすは歩行者として扱われるため、通行できません。



信号機がある交差点では必ず信号に従いましょう

青信号が点滅しているときや、赤信号のときは横断してはいけません。

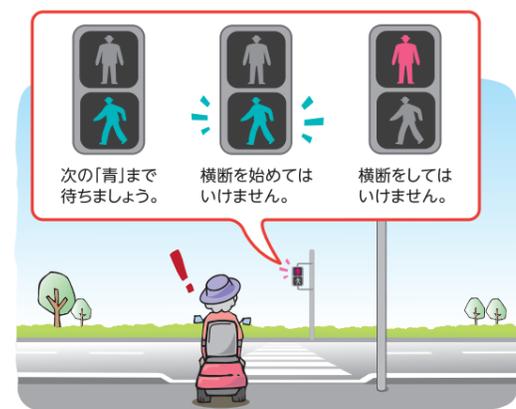
歩行者等横断禁止

歩行者は横断できないことを示しています。電動車いすは通行できません。



渡りきれないと判断されるときは次の「青」まで待ちましょう

信号機が「青」でも横断中に「赤」に変わり、渡りきれないことがあります。無理をせず、次の「青」になるまで待ちましょう。



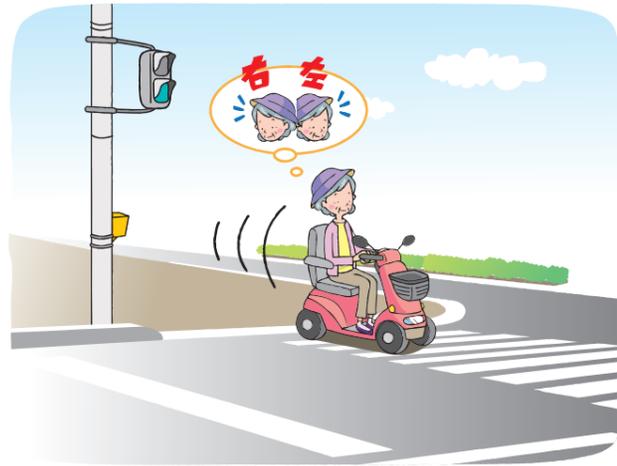
路側帯や車道の右側を通行する場合は、路肩にも十分注意してください。

通行時の注意点

道路の横断のしかた

○横断歩道や信号機のある交差点では

横断歩道や信号機のある交差点では、横断歩道を利用してください。横断するときは、左右の安全を確認してから横断してください。

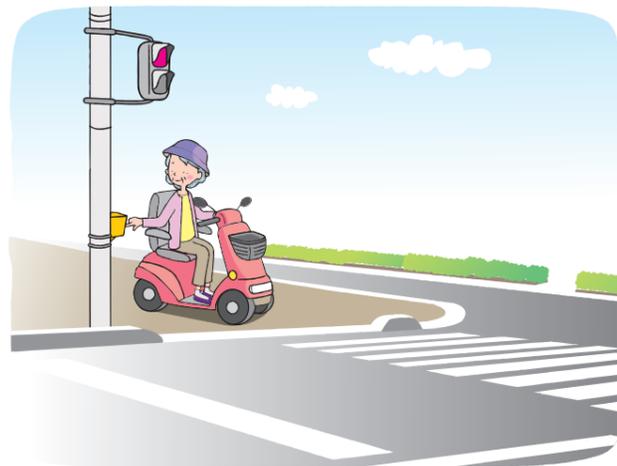


○交差点を渡るとき

交差点付近では、曲がってくる自動車などに十分注意し、左右の安全を確認してから横断してください。

○歩行者専用信号機のある場所では

押しボタン式の歩行者用信号機のある場所では、ボタンを押して待ちます。信号機が「青」になったら、左右の安全を確認してから横断してください。



○信号機のない場所では

信号機のない場所では、必ず横断歩道のある場所まで移動します。横断歩道の手前で一旦停止して、左右の確認をしてから横断してください。



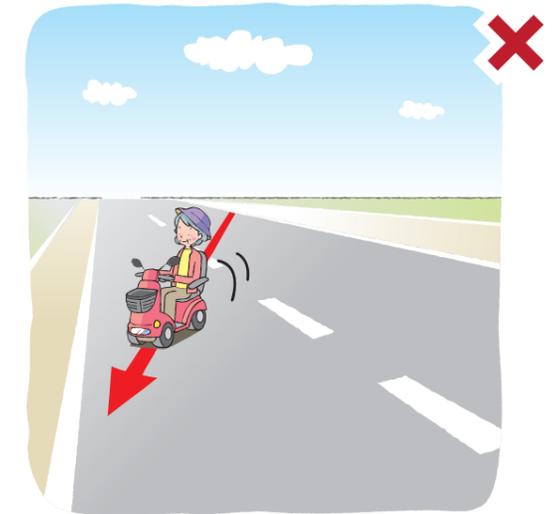
○横断歩道のない場所では

横断歩道のない場所では、見通しの良い場所で左右の安全を確認してから横断してください。自動車などが近づいているときは、通りすぎるのを待ち、もう一度左右の安全を確認してから、横断してください。



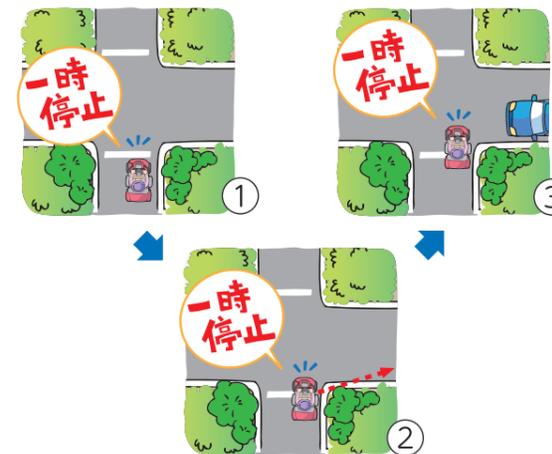
○道路を斜めに横断してはいけません

道路を横断するときは、必ず道路に対して直角に横断してください。斜めに横断すると、道路を横断するまでに時間が掛かり大変危険です。



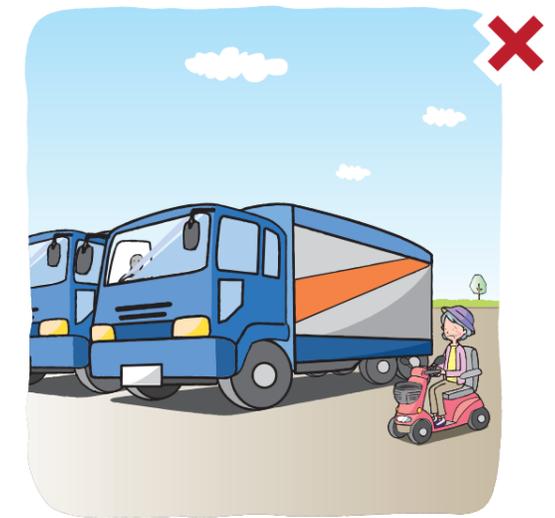
○やむを得ず見通しの悪い道路を横断するときは

①車道に出る前に一時停止
②自動車から見える位置で一時停止
③車道が良く見える位置で一時停止
必ず3回の停止で安全を確認してから横断しましょう。走ってくる車が見えたら、横断を開始しないでください。



○大型車の近くを通るとき

電動車いすは大型車の死角(運転手から電動車いすが見えない状態)に入りやすいので、大型車の近くの通行は避けてください。



電動車いすの正しい取り扱いについて

点検をしてください

○日常点検

使用状態から判断した適切な時期に日常点検を実施してください。不具合のある状態で利用すると、ケガをしたり電動車いすを損傷したりする原因になります。点検方法については、付属の取扱説明書をご覧ください。

日常の使用や点検で異常がみられる場合には、取扱店で点検・整備を受けてからご使用ください。

○定期点検

定期的に取り扱店で専門の点検を受けてください。

点検時期については、付属の取扱説明書をご覧ください。



○前進・後進、速度の設定をしてください

前進・後進切り替えスイッチ^{※2}(切り替えスイッチ付き電動車いすの場合)や最高速度設定ノブ^{※3}の使い方は、付属の取扱説明書をご覧ください。

前進・後進及び、最高速度の設定は、必ず平坦な場所で電動車いすが停止した状態で行なってください。使用中に切り替えると、電動車いすが急に止まったり、速度が変動して危険です。

※2 前進・後進切り替えスイッチ:前進または後進を選ぶことができるスイッチです。アクセルレバーの操作方向で、前進または後進に切りかえることができる電動車いすもあります。

※3 最高速度設定ノブ:お好みの最高速度を設定できる装置です。周りの状況や自分の体調等に合わせて、最高速度を設定してください。



下り坂では低速に設定しましょう。

○正しい姿勢でバックミラーの調節をしてください

背中が背もたれに付くように座席に深く座り、ひじ掛けにひじを置いて正しい姿勢を取ります。この姿勢で後方がよく見えるよう、バックミラーを調節しましょう。



○アクセルとブレーキの効き具合を確認してください

アクセル^{※4}とブレーキ^{※5}の効き具合を確認してください。アクセルレバーを押す(または引く)と発進し、レバーを離すと自動的にブレーキがかかり止まります。詳しくは、付属の取扱説明書をご覧ください。効き具合の確認は、安全な場所で行なってください。

※4 アクセル(レバー):アクセルレバーを押す(または引く)と、モーターに電気が流れ発進します。

※5 ブレーキ:アクセルレバーを離すと、自動ブレーキが作動して停止します。



○バッテリー^{※1}の残量を確認してください

お出かけの前には、必ずバッテリー^{※1}残量を確認してください。残量が少ないまま利用すると、途中でバッテリーが切れて止まってしまうおそれがあります。充電時期の目安は、付属の取扱説明書をご覧ください。

また遠出をするときは、必ず満充電にしてからお出かけください。

※1 バッテリー:充電をして繰り返し使用できる蓄電池です。電動車いすは、バッテリーに蓄えられた電気でモーターを回して作動します。バッテリー内の電気がなくなると使用ができなくなりますので、使用前には十分に充電をしてください。



○停止するとき 降りるとき

停止する時は、安全な場所を探し、アクセルレバーをゆっくり戻します。

降りる時は、電源スイッチを「切」にして、周りの安全を確認してから降りましょう。電源スイッチが入ったまま乗降すると、誤ってアクセルレバーに触れ、電動車いすが意図せず動き出すおそれがあります。



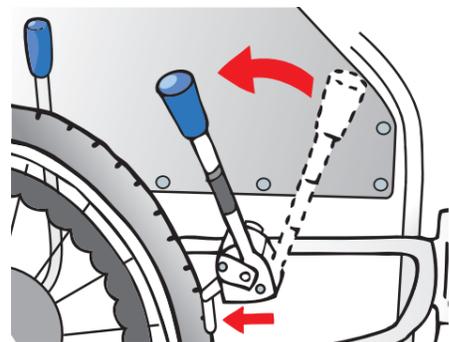
電動車いすの正しい取り扱いについて

乗るときは

ジョイスティック 標準形
ジョイスティック 簡易形

電動車いすのバランスが崩れると、転倒・転落事故の原因となりますので次の点にご注意ください。

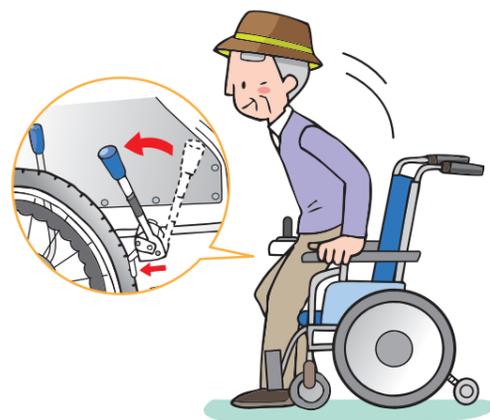
- ◎ 平らな場所へ移動する。
- ◎ 電源スイッチを「切」にする。
- ◎ 左右両側のクラッチレバーを「電動」位置にする。
- ◎ 簡易形は駐車ブレーキをかける。



降りるとき

ジョイスティック 標準形
ジョイスティック 簡易形

- ◎ 電動車いすが動かないように、左右両側のクラッチレバーを「電動」位置にします。
- ◎ 簡易形は後輪の駐車ブレーキをかけます。
- ◎ フットサポートをたたみ、両足を下します。
- ◎ 両手でアームサポートを持ち、ゆっくりと立ち上がります。



ジョイスティックレバーの操作を確認してください

ジョイスティック 標準形
ジョイスティック 簡易形

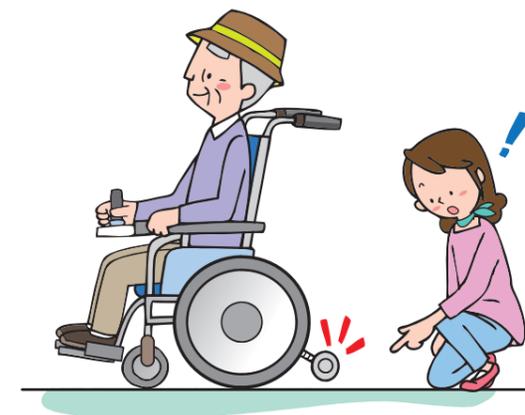
ジョイスティックレバーを倒した方向に発進し、レバーを離すと自動的にブレーキがかかり止まります。詳しくは、付属の取扱説明書をご覧ください。効き具合の確認は、安全な場所で行なってください。



転倒防止バーと補助輪の確認

ジョイスティック 標準形
ジョイスティック 簡易形

転倒防止バーを正しくセットし、補助輪を下げて利用してください。転倒防止バーを外したり、補助輪を上げたままで使用すると転倒するおそれがあります。

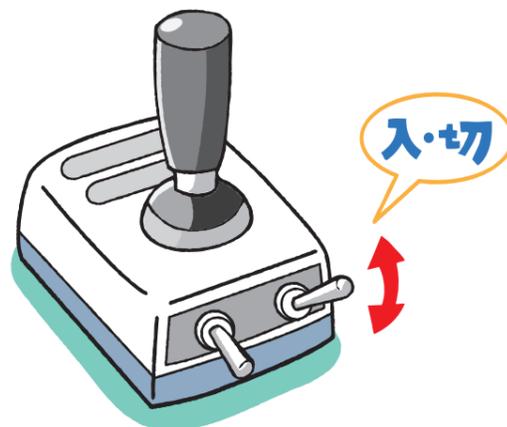


電源スイッチ

ジョイスティック 標準形
ジョイスティック 簡易形

スイッチを操作すると、電源の入切(ON-OFF)ができます。

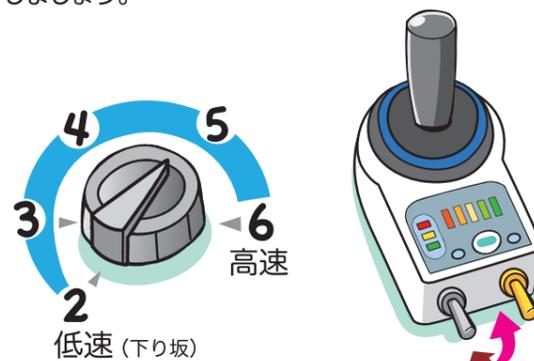
- ◎ 「入(ON)」：使用できます。
- ◎ 「切(OFF)」：使用できません。



最高速度の設定

ハンドル形
ジョイスティック 標準形
ジョイスティック 簡易形

使用前に通行条件や使用場所にあった速度に設定しましょう。



ハンドル形

ジョイスティック
標準形 簡易形

下り坂では低速に設定しましょう。

出かけるときは、必ず周囲の安全確認をしてください

出かけるときは、必ず周囲(前後左右)の安全を確認してください。特にバックミラーだけでは確認できない後方部分があります。必ず後ろを振り返り安全を確認してください。

道路に出るときも同様に、一旦停止し周囲の安全を確認してください。

通行音が小さく気付かれにくいので、周りの歩行者などには十分注意しましょう。



クラッチ操作

坂道ではクラッチを切った状態で電動車いすを手押ししたり、乗ったりすることは、自動ブレーキ(電磁ブレーキ)がかからず大変危険です。坂道ではクラッチレバーを「手押し」位置で使用しないでください。また、使用中にクラッチの切り替えをしないでください。



電動車いすの正しい取り扱いについて

○運転時の服装について

電動車いすに乗って外出するときは、運転がしやすく、周囲から目につきやすい明るい色の服装と帽子の着用をお勧めします。

車輪に巻き込まれたり、運転の支障となったりするような服装は避けてください。



○初めて運転するときは、広く安全な場所で、十分に練習をしてください

電動車いすの操作や速度に慣れるためには、十分な練習が必要です。始めのうちは速度を「低速」に設定し、広くて安全な場所で練習をしてください。



○初めて道路に出るときは

初めて道路に出るときは介助者に同行してもらい、交通ルールや安全な通行順路を確認してください。

ご利用になる道路環境を事前に確認し、次のような危険な道路、危険箇所には近づかず、避けるようにしましょう。

- 転落のおそれのある、ガードレールのない崖やふたのない側溝
- 横断に時間のかかる広い道路や信号のない交差点
- 踏切
- 10°以上の急な坂道(簡易形は6°以上)



怪我や事故を防ぐために

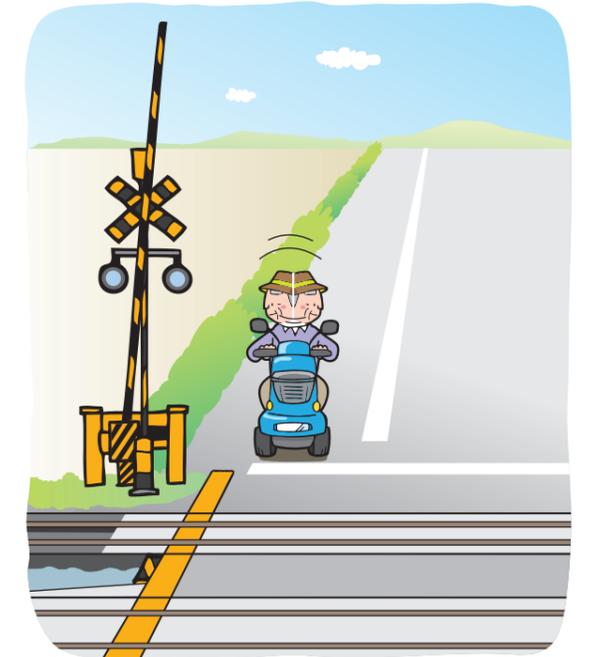
○踏切を渡るとき

踏切の横断はできるだけ避けましょう。

やむを得ず踏切を渡る場合は、介助者に同行してもらうようにしましょう。

踏切の手前では必ず一旦停止し、左右の安全を確認してください。踏切内を渡るときも、脱輪や線路の溝にタイヤが挟まらないようハンドルをしっかりと握り、線路に対してできるだけ直角に渡ってください。

踏切内で立ち往生してしまった場合は、慌てず介助者や周りの人の協力を得て、非常ボタンを押してもらうとともに、直ちに踏切内から脱出してください。



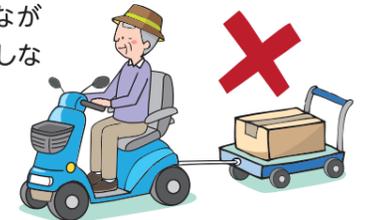
○身体を乗り出さないでください

電動車いすから身体を乗り出すような行為は、しないでください。バランスを崩し転倒するおそれがあります。



○二人乗りや牽引はしないでください

二人乗りや荷物の牽引はしないでください。運転操作を誤ったり、バランスを崩し転倒するおそれがあります。電動車いすを使いながらのペットの散歩もしないでください。



○夜間の使用はしないでください

危険なので夜間の使用は控えましょう。外出中、やむを得ず夜間になってしまった場合は、車のライトを反射する「反射材」を身に付け、電動車いすにも反射板を取り付けておきましょう。



○坂道で使用する際の注意

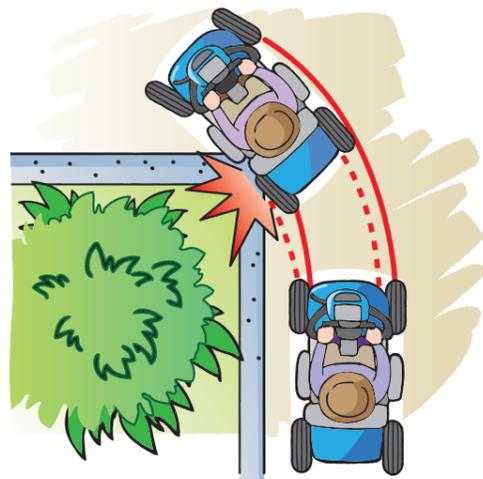
坂道では急ハンドルをさけ、道路の状況に応じて安全な速度で使用してください。また、クラッチを切った状態での使用は大変危険です。



電動車いすの正しい取り扱いについて

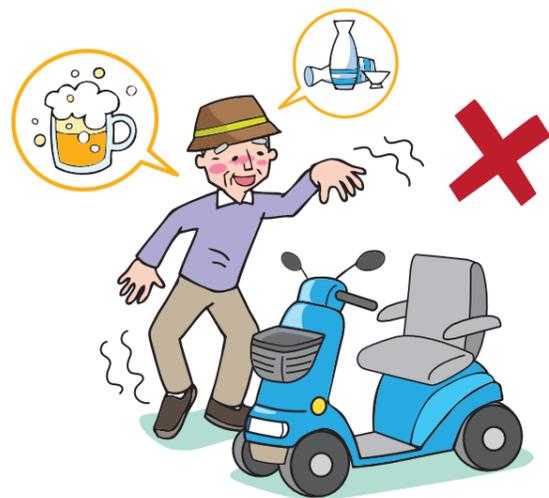
○内輪差に気をつけましょう

曲がるときは、内側の後輪は前輪よりもさらに内側を通ります。この内輪差を意識して曲がらないと、後輪が側溝に落ちたり、縁石に乗り上げたりして、転落・転倒するおそれがあります。



○飲酒後や体調の悪いときは運転をやめましょう

- ◎体調が悪いときは運転をやめましょう。
- ◎飲酒後や眠気をもよおすおそれのある薬を服用したときは運転をやめましょう。
- ◎気温の高い季節は、適度な水分補給や日陰で休憩をとるなど熱中症に注意しましょう。
- ◎持病などで運転に不安のある方は運転しないでください。



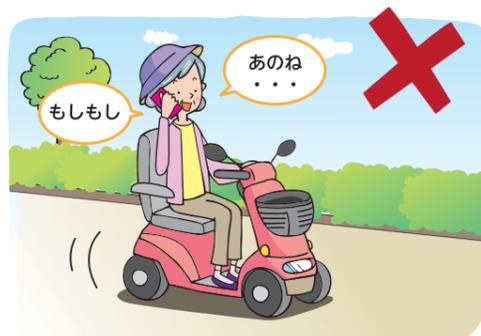
○節度ある利用を心掛けてください

乱暴な運転はしないでください。周囲の迷惑になるばかりでなく、バランスを崩し転倒するおそれがあります。また、電動車いすには一定の幅があります。歩行者の近くを通るときは、歩行者とぶつからないよう一定の距離をおいて通行してください。



○携帯電話などの使用について

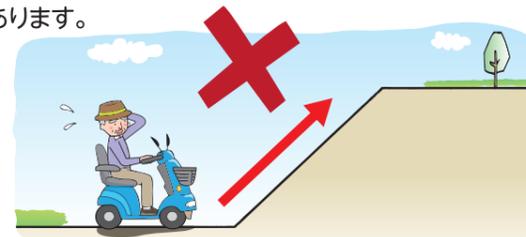
使用中は携帯電話を使用しないでください。携帯電話を使用するときは安全な場所に停止し、電動車いすの電源スイッチを切ってから使用してください。



危険な場所の通行は避けてください

○急な坂道

10°を超える急な坂道(簡易形は6°以上)の通行は避けてください。転落・転倒してケガをするおそれがあります。通行可能な傾斜角度については、付属の取扱説明書をご覧ください。坂道を通るときは、上り下りともに前進で、坂道に対してまっすぐに通ってください。斜めに通行するとバランスを崩し転落・転倒するおそれがあります。



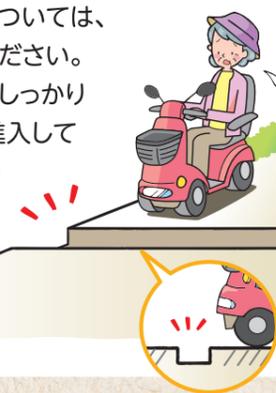
○大きな段差

大きな段差の乗り越えは避けてください。転落・転倒してケガをするおそれがあります。乗り越え可能な段差の高さについては、付属の取扱説明書をご覧ください。段差を乗り越えるときは、ハンドルをしっかり握り、段差に対して直角に進んでください。斜めに進入すると、バランスを崩し転落・転倒するおそれがあります。



○大きな溝

大きな溝を渡ることは避けてください。タイヤが溝に挟まり使用不能になったり、転落・転倒してケガをするおそれがあります。渡ることが可能な溝の幅については、付属の取扱説明書をご覧ください。溝を渡るときは、ハンドルをしっかり握り、溝に対して直角に進んでください。斜めに進入すると、タイヤが挟まったりバランスを崩し転落・転倒するおそれがあります。



○急な傾斜地

急な傾斜地の通行は避けてください。転落・転倒してケガをするおそれがあります。通行可能な傾斜角度については、付属の取扱説明書をご覧ください。傾斜地を通るときは、ハンドルをしっかり握り、身体の重心を斜面の高い方へかけながら通行してください。斜面の低い方へ重心をかけると、バランスを崩し転落・転倒するおそれがあります。



○その他の危険な場所

以下のような場所や状況下での利用は避けるか、介助者の方と一緒に利用してください。思わぬ不具合が生じて、ケガをしたり使用できなくなる恐れがあります。

- ◎雨や雪が降っているとき
- ◎ぬかるみのある場所
- ◎凸凹の激しい場所
- ◎深い砂利道
- ◎凍結している道路や雪道
- ◎風が強い日や霧が深い日
- ◎エスカレーター
- ◎夜間
- ◎防護柵のない側溝や路肩付近
- ◎交通量の多い場所
- ◎混雑している場所
- ◎幅の狭い場所



電動車いすの正しい取り扱いについて

事故事例

商業施設利用時の注意点

○施設内で利用可能か確認しましょう

商業施設を利用する前に電動車いすが利用可能か確認しましょう。



○お店の中では、速度を最低に

お店の中では、速度を最低に設定して人と接触しないよう注意してください。



○自動ドア通過時は特に注意しましょう

自動ドアを通過するときは、周りの人やドアの動きに注意してゆっくり通過しましょう。



○駐車場内では車の周囲は通行しない

駐車場では、車の真正面・真後ろ・車と車の間は通行しないようにしましょう。



公共交通機関利用時の注意点

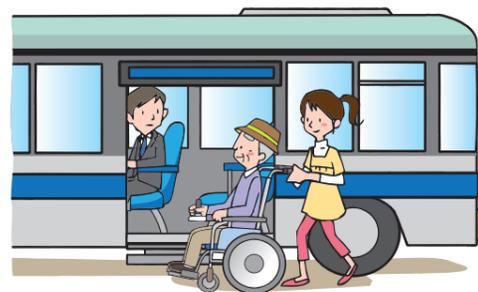
○利用の際は事前に各交通機関へ問い合わせましょう

公共交通機関によっては、電動車いすの操作方法(ジョイスティック形、ハンドル形)の違いにより、利用できる場合とできない場合があります。事前に各交通機関へ問い合わせましょう。



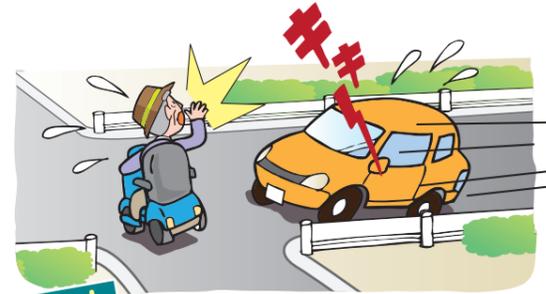
○利用の際は細心の注意を

公共交通機関を利用する際は、周囲の人と接触しないよう注意しましょう。



○道路横断事故

電動車いす利用者(80代・男性)は天気のよい昼間、国道を横断する際に車両との接触事故で亡くなりました。



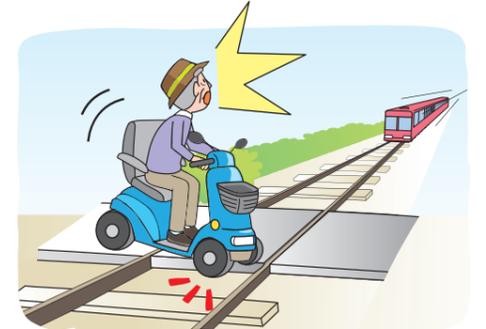
ポイント

- 横断歩道・信号がある場所を横断しましょう。
- 横断歩道・信号がない場合は、見通しの良い場所を探して横断してください。
- 道路横断には時間がかかります。車が遠くに見えても通過するまで待ちましょう。
- 道路を斜めに横断してはいけません。道路に対して直角にまっすぐ横断しましょう。

○踏切事故

電動車いす利用者(80代・男性)は踏切内で電車と接触して亡くなりました。

⚠️踏切でのトラブルは重大事故に直結します。



ポイント

- 踏切の横断はできるだけ避けましょう。
- やむを得ず踏切を渡るときは、介助者に同行してもらいましょう。
- 踏切内では脱輪したり線路の溝にタイヤが挟まったりしないよう注意して渡ってください。

○転落事故

電動車いす利用者(70代・男性)が道路脇の側溝に転落して亡くなりました。

⚠️土手・側溝などがある道、路肩が傾斜している道では端に寄り過ぎないように注意してください。



ポイント

- 道路の端に寄りすぎないように通行しましょう。
- 凸凹道やぬかるみ、幅が十分でないあぜ道などの通行は避けてください。

○歩行者との事故

電動車いす利用者(60代・女性)がスーパーで買い物中にベビーカーと衝突し、ベビーカーを横転させ乗っていた赤ちゃんを負傷させてしまいました。

⚠️電動車いす利用者が加害者になることもあります。



ポイント

- お店の中では、速度を最低にして人と接触しないようご注意ください。
- お店の中が混雑しているときは、利用を控えましょう。